



(該当社名)

自動立体視ステレオ (3D) ディスプレイ



「C」製品マニュアル
「C-i」「C-s」モデル

操作マニュアル

今回はわが社の革新的なこの製品を購入いただきありがとうございました。
この製品が仕事の効率・快適度をさらに向上させるものと期待いたします。
初めに画面のスイッチを入れる前に、よくこれをお読みください。

(該当社名)は標準ブランドパネルをこの自動立体視ステレオディスプレイとして使用しています。パネルと安全基準については、CDに付属しているメーカーマニュアルを参照ください。

技術データは予告なしに変更されることがあります。

開発が継続的に行われていることから、マニュアルの一部に関しては最新の情報ではないことがあります。製品の最新情報に関しては、www.seereal.comを参照してください。

目次

1 適用および機能。	4
2 初めての操作	5
2.1 インストール	5
2.2 輸送ロックの解除。	6
2.3 接続	6
2.4 スイッチ	7
2.5 ハードウェア及びソフトウェア	7
3 ディスプレイ・コントロール	10
4 「C」ステレオ・コントロール	11
4.1 概要	11
4.2 LEDについて	12
4.3 ボタンについて	13
5 クリーニング	15
6 輸送	16
7 内容物について	17
8 技術データ	18
9 安全性について	20
10 トラブルシューティング	21
11 連絡先	24

1 操作と機能

「C」ディスプレイによって、立体画面の静止画および動画を特別な装置(例:眼鏡)無しで見ることができます。ユーザは、非常に接近している画面イメージを現実に近い状態、本当の三次元で認識することになります。三次元の視覚データが非常に重要である場合にディスプレイは非常に役に立つものと思われまます。ステレオ画像は、PCの画面と同様、60～75センチほど離れてみることをお勧めします。

立体的に物体を見るということは、右と左の目が微妙に異なるイメージを知覚することで、両目がそれぞれ微妙に異なるパースペクティブを作り出すことに基づきます。

これらのイメージによって脳は三次元の視界を形成します。

この原理を利用して、ディスプレイはそれぞれの目に異なる情報を含んでいる合成イメージを表示します。高度に正確なイメージを分離することによって、右目と左目がそれぞれに意図したイメージだけを認識するのと同じ方法でディスプレイからユーザに届く光が指定されます。統合トラッキングシステムによって、ユーザはディスプレイの前でも自分の位置を動かすことができます。「C-i」モデルはカメラシステムによってユーザ位置を確認します。「C-s」モデルは、赤外線システムによってユーザ位置を確認することから、暗い環境でも使用可能です。「C-s」ユーザは添付のヘッドフレーム(図1)を額に装着します。

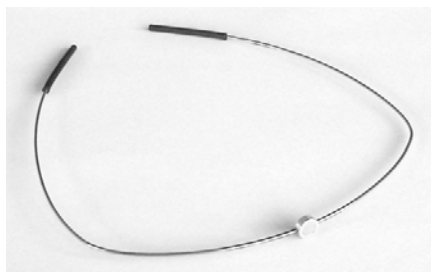


図1



図1a

小さなリフレクタは、目と目の間(図1a)に直接位置しなければなりません。

補足情報に関しては、www.seereal.com を参照してください。

注意:

ステレオ・イメージを見る際、物体が通常の画面よりかなり前面もしくは後部に見える場合は、定期的に目に過度な負担をかけないように目を休めるようにしてください。必要ならば、使用ソフトウェアのステレオを調節してください。吐き気、めまい、目に何か支障が出たりもしくは類似した症状が見られる場合は、直ちにディスプレイを中断してください。

2. 初めに

2.1 インストール

ディスプレイは同梱されている ErgoDesk® TFT のベースに搭載することも出来ます。または、VESA100 インターフェースがあれば他の搭載システムを使用することも出来ます。

ベースによって高さを変えたり、水平にしたりディスプレイの傾きを調節することができます。いつでも正しくステレオでご覧になれるように、ディスプレイの下側を水平に設置し、ピクセルの表示欄が垂直に表示されるようにしてください (図 2)。特に、高さ調節上のネジは、ディスプレイが滑って破損しない為にもしっかりと固定する必要があります。ディスプレイの傾斜を調節するレバーは、ネジを緩めずに手前に引くことで調節することが可能です。



図 2

ディスプレイを乾燥及び通気のよい場所にしっかりと固定して設置するようにしてください。湿気や過度に暑い／寒い場所、また埃の多い場所での使用は避けてください。

操作中、ディスプレイの上部カバーには視覚認識部分が組み込まれているので、よく見える場所に常時あるようにしてください。

注意:

「C-i」モデルの場合、カメラがトラッキングシステムとして機能するために、見る人の瞳孔を認識する必要があります。使用場所に充分かつ均一な照明が当てられていることが重要となります。但し、明るい日光はもちろんのこと、顔やカメラに一点集中する光が当たることを避けてください。瞳孔がちゃんと見える限り、眼鏡の使用に関しては問題ありません。「C-s」も困難な照明の条件下で使用することができます。

注意:

「C」ディスプレイは一人用のビューワシステムです。「C-i」の場合、ユーザの近くに他の人がいると、トラッキング・システムが妨害されることがあります (他の瞳孔があるため)。妨害された際、しばらくの間目をディスプレイから離してください。再度ディスプレイの 方に視線を向けると、しばらくしてシステムが再度ユーザの目を認知することが出来ます。

2.2 輸送ロックの解除

次に、輸送ロックを解除します。輸送ロックは底部の中間部(図 3)、ディスプレイの後部にあります。ロックが斜めになっている場合、ディスプレイはロックされています。輸送ロックはコインもしくは同様の物を挿入して、止まるまで回し垂直位置にすることで解除できます。輸送ロックが解除されたかどうかよく分からない場合は、輸送ロックを左回りにネジが止まるまで回し、その後逆に一回り戻してください。



図 3

警告:

スイッチを入れるさいには必ず輸送ロックを解除してください。輸送ロックが解除されていないままスイッチを入れると、プリズム・トラッキング・システムが壊れる可能性があります。

2.3 接続

ディスプレイ・ポートは後部の搭載ベースの下に下向きに位置しています。(図 4 参照)。

1. 円形の低電源コネクタ (A) を DC 電源へ接続し、DC 電源をメインへ接続してください。DC 電源は、配達されたもの以外の電源を絶対に使用しないでください。付属のメインケーブルは、ドイツおよび大半のヨーロッパ諸国の安全規定に従っています。その他の地域で使用する際、その地域に該当する規定に従って必要なケーブルを別途使用してください。



図 4

2. 付属の DVI ケーブルは DVI ポート(C)を通して、ディスプレイとコンピューターのグラフィック・ボードを接続するために使用します。まずグラフィックボードに DVI が接続できなければなりません。全装置のスイッチを切った後で、DVI 接続とグラフィック・ボードの入切を行ってください。装置のスイッチが入ったままで、DVI 接続を入切すると、ディスプレイの電子部分を破損するおそれがあります。

9-ピンSUB-Dコネクタ(B)は、頭位置データを外部に転送するために使用します。さらに詳しい情報については、support@seereal.comに連絡してください。ディスプレイにあるアナログポート(D)はステレオ操作には関係ない為使用しないでください。

2.4 スイッチ

ディスプレイはプラグアンドプレイの互換性があります。

ディスプレイの ON/OFF スイッチは前面(図 6)にあります。右側上部のランプが緑色に発光します(操作準備完了)。その後、コンピューターのスイッチを入れてください。数秒間でディスプレイは自動初期化し、動画信号を分析し、ディスプレイ・パラメーターを調節します。

垂直周波数 60Hz 解像度は 1280x 1024 ピクセルで設定してください。

「C-i」

「C-i」コントロールパネル上の L1 LED が緑色に点灯すると、操作の準備が完了し、ビューワの位置を自動的にキャッチします。必要であれば、頭を横に振ってみて、瞳孔認識システムが正確にあなたの目をトラッキングしているか、またトラッキングシステムが正確に機能しているかどうかチェックしてください。

「C-s」

リフレクタの付いたヘッドフレーム(図 1)を額に装着してください。リフレクタは、目と目の間(図 1 a)に直接位置しなければなりません。「C-s」コントロールパネルの L1 LED が緑に点灯すると、ディスプレイ操作の準備が完了し、ビューワの位置を自動的にキャッチします。ビューワの頭座標が認識されると、モニターの上部真中にある LED が緑に点灯します。LED が赤点灯する際、光の反射が認識されないか、ビューアの頭部が認識範囲の外部にあるためにトラッキングシステムが正確に作動していないと思われる。

2.5 ハードウェア・ソフトウェア

解像度と垂直周波数

60Hz の垂直周波数 ディスプレイは 1280 の x 1024 ピクセルの解像度で作動します。

ステレオ・イメージ/ビデオ

この 3D モニタに付属している USC(世界共通のステレオ変換器)および 3D デモのアプリケーションは、立体画像と動画素材の変換及び画像化に使用します。

さらに詳しい情報に関しては、ソフトウェア製品のそれぞれのマニュアルを参照してください。

インタラクティブ 3D アプリケーション

当社の 3D モニタ上の立体画像化に最適な 3D プログラムのリストに関しては、http://www.seereal.com/EN/support_sw-list.en.htm を参照してください。

シャッターグラス等のステレオモードをサポートする共通オープン GL アプリケーションは、NVIDIA グラフィックボード(クアドロチップ装備)によって「C」ディスプレイ上で立体表示することが可能です。この用途に関しては、「オープン GL セッティング」(1)のページで「追加のオープン GL プロパティ (Additional OpenGL properties)」を選択し、ステレオディスプレイモードを「バーティカル・インターレース・モニターを使用する(Use vertical interlace monitor)」(図 5 参照)に変更してください。

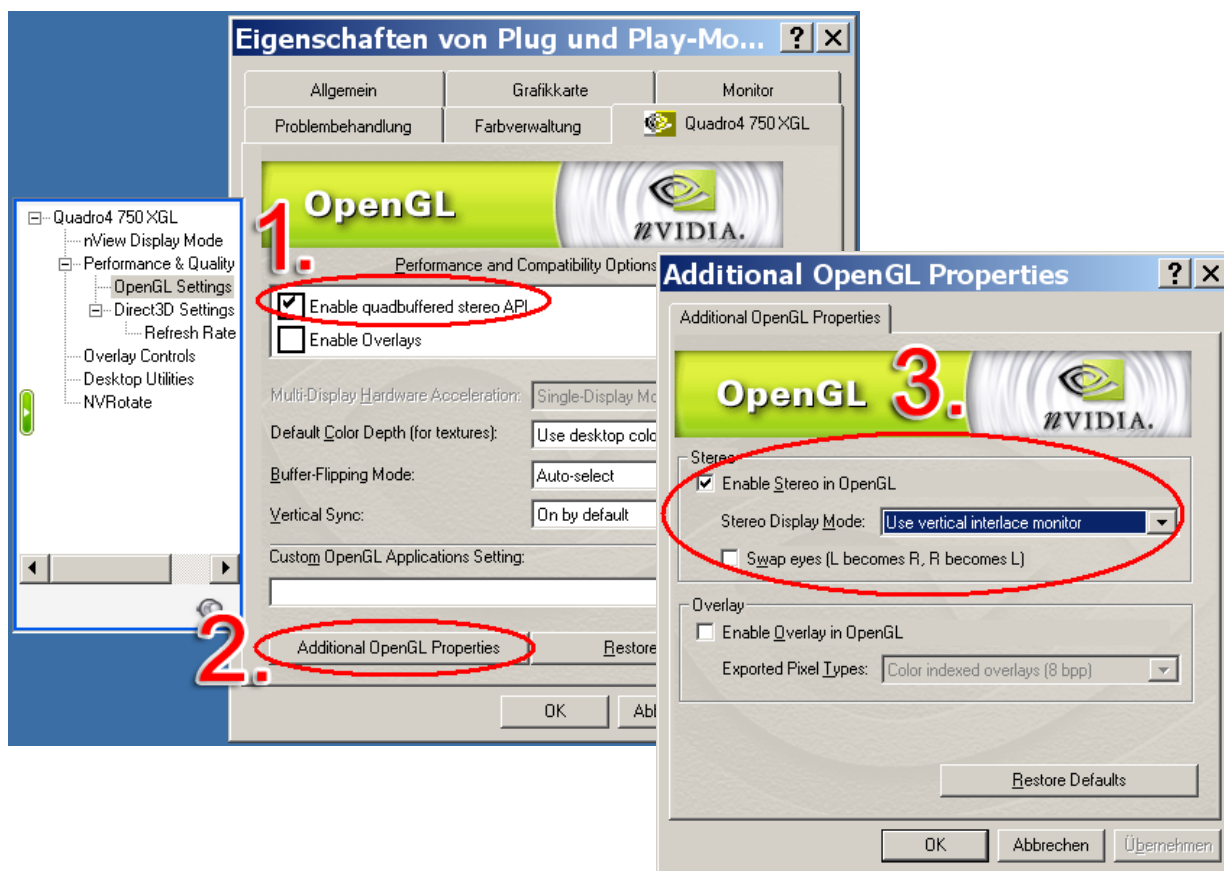


図 5

プログラムがオープン GL グラフィックス・ライブラリを使用するかどうかはディーラに尋ねてください。

グラフィックボード、1/2 台モニター同時解像

ディスプレイは職場などで 1 台に限らず 2 台のモニタでも使用することができます。例えば、ただ立体画像を表示したいだけでなく、2D 画像のアプリケーションも使用したい場合、二台目のモニタは通常のモニタを使用することを推奨します。「C」ディスプレイはデジタル DVI 接続

を備えたグラフィックボードだけを使用することができることを意味して、完全にデジタルでコントロールされます。

必要であれば、もう一つのモニタ操作を可能にするために、1つあるいは2つのポートを備えたグラフィックボードの選択をすることも出来ます。詳細はwww.seereal.comを参照してください。質問およびソフトウェアに問題がある場合は、support@seereal.comへ連絡してください。ディスプレイ上で作動する標準アプリケーションリストに関しては、www.seereal.comを参照してください。

3 ディスプレイコントロール

パネルの詳細情報に関しては、製造者作成の書類を参照下さい。パネル前方にある調節ボタンを使用することで容易に日常の仕事が快適なものになります。

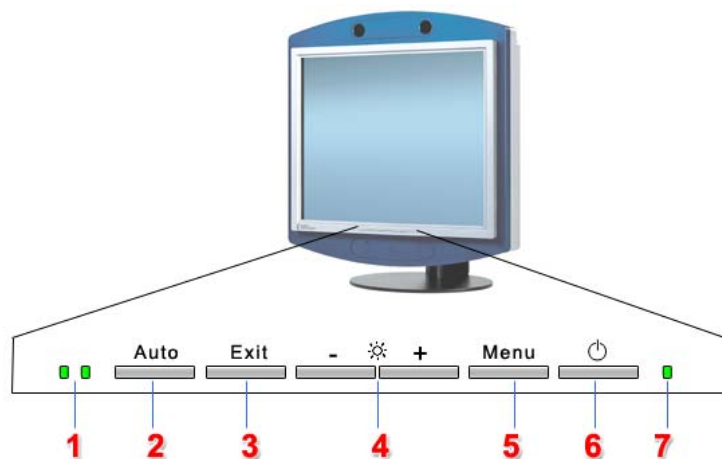


図 6

- 1 LED. もしオンスクリーンディスプレイが作動しなければ、EXIT ボタンでビデオ信号を選択することが出来ます。A はアナログ、B はデジタルです。ステレオ映像には、デジタル入力が必要です。
- 2 AUTO ボタンで、ディスプレイをビデオ入力信号に自動調整します。
- 3 EXIT ボタンで、現在のメニューもしくはオンスクリーンディスプレイ (OSD) を閉じます。もし OSD が作動していなければ、他のビデオ信号を選択するのにも使用可能です。
- 4 調整ボタンは、オプションを選択したり、パラメータを調節するのに使用します。
- 5 OSD を開いたり、選択したメニューオプションを作動するのに使用します。
- 6 電源 ON/OFF
- 7 LED. 緑点灯は正常なオペレーションモードを表示します。もしディスプレイがある一定時間使用されずにいると、省エネモードに換わり、ライトが緑点滅に変わります。マウスを動かしたりキーを押すと元の通常オペレーションモードに戻ります。

4 「C」ステレオコントロール-

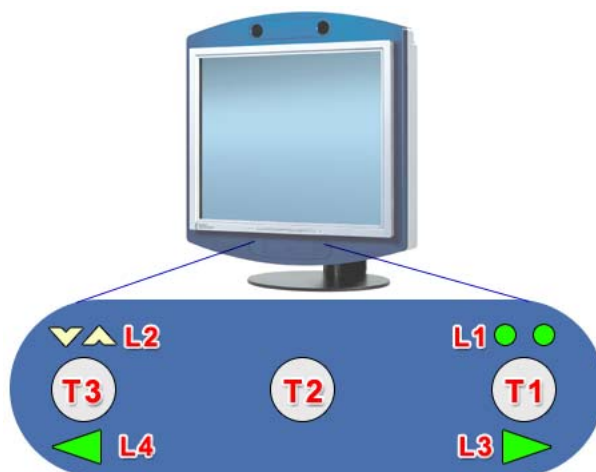


図7

ディスプレイ前面にある3つのボタンによって操作できます。操作ステータスは、3つのLEDと1つの多色LED(L1)によって表示されます。これらの点灯は、それぞれ2個の外部のボタン上下にあります。

4.1 概観

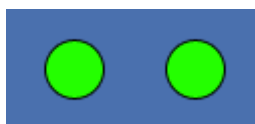
機能	操作ボタン	作動 LED/色
通常操作モード	なし	L1/ 緑
-トラッキング オフ	T1	L1 点灯無し
-ステレオ画像交換	T3	L2/ 黄
調整モード	T2	L3+L4/ 緑
-ゼロ視差平面	T1 もしくは T2	L3+L4/ 緑
-これ以上調整できないとき	なし	L1/ 黄
-調整保存	T2	L3+L4 オフ
トラッキング信号無検出	なし	L1/ 黄
エラー	なし	L1/ 赤

4.2 LED に関して

LED の位置や指示に関しては、図 7 を参照してください。ここにある指示は理解をしやすくするためのもので、ディスプレイ上の表示はありません。

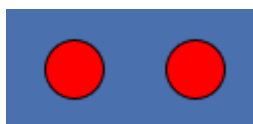
L1:

緑



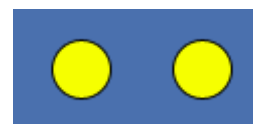
イメージトラッキング作動中

赤



トラッキングドライブ誤作動

黄



調整限界あるいはトラッキング信号無し

トラッキングシステムが信号を受信し、トラッキングが機能している場合ランプは緑に点灯します。「C-i」の場合、これは瞳孔が認識されたことを意味します。「C-s」のみ：赤外線信号を受信すると、上部中の別の LED ランプが点灯します。

調整モードでは、黄色の L1 ランプがマスクゼロ視差平面の修正可能範囲が限界であることを示します。これは通常のオペレーションモードにおいて、処理の合図がトラッキングシステムによって認識されていないことを示します。これは、目あるいはリフレクタのいずれかがトラッキングされた範囲外にあることを意味します。「C-s」のみ：もう一つの上部の LED ランプが点灯します。

L1 が絶えず点灯する場合、これはトラッキング・システムのエラーを示します。2.1 に記述の通り、輸送ロックが解除されているかどうかチェックしてください。また、ディスプレイが正常位置から異常に離れて取り付けられている場合、(例:ディスプレイの下部が水平であるかどうか)もチェックしてください。これらの対策を取ってもまだ赤ランプが点灯している場合は、システムエラーかもしれません。Support@seereal.comに連絡をしてください。

L2:

黄色

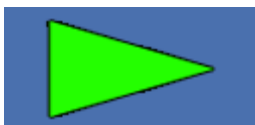


左 or 右目へのピクセルコラムの交換指示

ディスプレイの通常オペレーションでは、L2 はオフになっています。T3 ボタンを操作すると、L2 はステレオビューが逆に表示されるという意味で黄点灯します。この機能は、ステレオビューを反転表示するアプリケーションに使用されます。通常、ビューを反転表示は、0.、2.、4.、6.、等を含むビュー左側と 1.、3.、5.、等の右側ビューを操作することで可能となります。

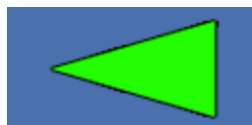
L3:

緑



L4:

緑



調整モード:ゼロ視差平面修正は可能

ディスプレイの通常オペレーションでは、L3 と L4 がオフになっています。調整モードに T2 で変更すると、ランプは緑に点灯します。そうしてトラッキングシステムを調整することができます。

4.3 ボタンについて

ボタンの位置および機能に関しては、図7を参照してください。

T1 ボタン(右) : イメージトラッキング ON/OFF

T2 ボタン(中) : モード選択—ゼロ水平視野を保存/復元

T3 ボタン(左) : ピクセル値の入換—ゼロ水平視野

通常操作モード :

L3 と L4 ボタンはオフ

T1 ボタンはイメージトラッキングを停止することが可能です。L1 ランプは消えます。ボタンを再び押しすと、トラッキングシステムのスイッチが再び入ります。この機能は他のユーザがステレオイメージを同時に見ることを可能にするために使用されます。この場合、ビューアは最大のステレオコントラストを得る為にも、頭を横に揺らす必要があります。イメージトラッキングがオンの時、T3 ボタンを押すとステレオ視界を反転することができます。L2 ランプは黄色に点灯します。この機能は間違っただけの指示を受けたイメージを表示するために使用されます。再度ボタンを押しマスクを切替えると、L2 ランプが消えます。T2 ボタンを押すと調整モードに変わり、L3 ランプと L4 ランプが点灯します。

調整モード:

これはイメージ・トラッキングがオンで正常に機能している時に、ステレオビューの水平位置を調整するのに使用します。両目の間で頭位置を直接与えるリフレクタを付けることが出来ない場合(1)、もしくはイメージトラッキングは成功しているにもかかわらず、過度のクロストーク(ダブル画像)がある場合(2)には調整が必要となります。(2)の場合、調整をする前に、イメージトラッキングのスイッチが入っていない状態で、過度のクロストークがあなたの頭を横に振ることで軽減することが可能か確かめてください。

注意:ステレオビューは、製造者によって最適にセットされています。経験の有るユーザのみがこれらの機能を使用してください。

調整モードに変えたい時は、**T2**を使用してください。L3とL4が緑に点灯します。右から左へステレオ移動させたい場合、**T1**と**T3**ボタンを使用してください。少しずつボタンを押すことで、徐々に調整ができますし、ボタンを押したままであれば続けて調整をすることができます。調整範囲は限られています。調整の限界に来ると、L1が黄色に点滅します。この場合、反対側のボタンを使用して反対側へ調整してください。通常ボタン機能に戻したい場合、**T2**を短く押してください。L3とL4ランプが消灯します。

保存設定：

ゼロ水平視野は、L3とL4ランプが消えるまで(約2秒)**T2**ボタンを押すと保存されます。これはビューワ毎にディスプレイを調整したい時やエラーやドリフト画像を調整したい時にします。

復元設定：

工場設定値に戻したい場合、**T2**を押しながらディスプレイのスイッチを入れてください。図6のランプ7が緑に点灯するまで**T2**は押しつづけてください。

5 掃除

警告! 掃除を行う際は、常に電源を切ってください。

掃除にする際、保護スクリーンや本体を傷つけるような固い鋭利な道具を使用しないでください。溶液、ベンジン、洗剤、スプレー、酸/アルカリ性液剤のような強力な洗剤、あるいはワックスを使用しないでください。本体や保護スクリーンを掃除にするためには、わずかに柔軟な布をぬるま湯で湿らせて汚れを除去します。その際、水分がディスプレイ内部へ入ることの無いよう注意してください。次に、清潔で乾燥した布で埃を取り除いた部分を乾拭きしてください。この際、弱性であれば洗剤を使用しても構いません。通常の PC 専用のクリーナーワイブは、本体やスクリーンの掃除に最適です。

注意: 洗浄液が完全に蒸発してから、ディスプレイのスイッチを入れてください!

6 輸送

ディスプレイはちゃんと垂直に置かれ、適切な硬い輸送箱の中で輸送されなければなりません。

(the importer) は、実際、特別輸送箱でディスプレイを輸送します(図 8 参照)。

(the importer) は、第三者による製品の不適当な梱包や不適当な取扱いによって起きた製品の損害責任を負いません。



図 8

長距離でディスプレイを輸送する際には輸送ロックをかけることを強く推奨します。光学部品が滑ったりするのを防ぐことで、ダメージを避けることができます。

警告!

輸送ロックのかかっていない輸送は製品ダメージを起こすことがあります!

ディスプレイの後下部の中央にねじの形をしているものが輸送ロック (図 3) です。この溝をコインで斜めになって停まるまで回してください。

注意:

スイッチを入れる前に輸送ロックは解除されなければなりません。さもなければプリズム・トラッキング・システムが破損する可能性があります。溝を右回りに垂直の位置で止まるまで回してください (2.2 の項を参照)。

7 配達に関して

以下の付属品が自動立体視ステレオディスプレイと共に輸送されます:

- パネル業者マニュアル
- “C” プロダクト 操作マニュアル
- 「ユニバーサルステレオ変換器」ソフトウェア と 3D デモ
- 主要ケーブルと DC 電源 (付属: ディスプレイ接続用の円型低電圧コネクタ)
- DVI 接続ケーブル
- ヘッドフレーム 2 個およびリフレクタ (10 個)

8 技術データ

パネル

LCD タイプ-	a-siTFT/PVA
スクリーン対角線	46cm
ピクセル距離 (ドットトリオピッチ)	0.281mm
輝度	250 Cd/m ²
コントラスト	500:1
画像レスポンス時間	25 ms
解像度 最大	640 x 1024
一眼当り	1280 x 1024
色	24 ビット、1670 万色
プラグアンドプレイ	DDC 1/28

周波数

水平	
アナログ:	30-81kHz
デジタル:	30-63.3kHz
垂直	56-85Hz
帯域幅	
アナログ:	135 MHz
デジタル:	108 MHz

入力信号

Sync タイプ	個別 H/V、合成 H/V、SOG
ポート	デュアルインタフェース DVI-D(デジタル)及び RGB D.sub (アナログ - ステレオ画像化に適さない)

出力信号

頭部検知センサーデータ	RS 232、19200bps
-------------	-----------------

設定/OSD

デジタル	水平及び垂直画像位置、コントラスト、明るさ、同期、 リセット、画像サイズ(1:1 画像)、画像フィルタ機能、 色設定、OSD 操作ロック/アンロック、OSD 画像持続時間、 OSD 言語、OSD 位置、自動調節機能、アナログ/デジタル スイッチ
ステレオ	トラッキングオン/オフ、ゼロ水平視野の移動/保存、 ステレオ部分交換(画像は反転表示)

トラッキング・システム

アイトラッキング (“C-i”)	ビューワ (一人) の目の位置を認識してイメージをトラッキングする
スポット・トラッキング (“C-s”)	ビューワが装着するリフレクタが最大の効果で認識することによってイメージをトラッキングする
認識範囲	左右 20°
最適距離	約 65cm±10cm

必要システム :

PC	IBM 互換 PC、ペンティアム II 300MHz
対応 OS	WINDOWS 9x/ME/NT4/2000/XP 及び LINUX
グラフィックボード	デジタル 3D グラフィックボード nVidia Quadro
SGI ワークステーション	Fuel、グラフィックボード V10 か V12 の Octon2

必要ソフトウェア

ステレオ画像を可能にするソフト	詳細な必要条件および可能なアプリケーションについての最新情報は www.seereal.com を参照
-----------------	--

サイズと重量

サイズ (W x H x D)	430 x 455 x 245mm -ErgoDesk® ベースを含む
梱包サイズ(W x H x D)	620 x 645 x 370mm
重量	
ディスプレイ:	11.1kg
ベース:	4.6kg

動作環境

温度	0° ~40°C(32° ~104° F)
比較湿度	20~80%(結露無し)

電源

ノミナル入力	60W 以下
スタンバイ時	5W 以下

DC の電源

本線電圧	
プライマリ :	AC 100-240V; ~60/50Hz; 1.3A
セカンダリ :	DC 12V; 5A

安全事項

付属の DC 電源コードのみ使用してください!輸送の前に輸送ロックをし、操作前に輸送ロックを解除してください。

保証期間	2年
------	----

9 安全上の注意

ディスプレイを使用する際、以下の安全事項に注意してください:

- 電源部分が熱くなりますが、この熱は障害なく放散されなければなりません。電源が何にも覆われず、その他の熱源の近くにいることを確かめてください。
- もし指定の方法以外でディスプレイを使用したり輸送を行い、万が一ディスプレイが破損した場合（特に保護スクリーン）、けがをする恐れがあります。
注意：保証は梱包に入っている状態で輸送される際のディスプレイの破損にのみ該当します。
- ディスプレイベースでディスプレイの高さや傾きを調整する際、けがをしないように注意してください。特にディスプレイとベースの間に指を挟まないように注意してください。必要であれば、調整は他の人にしてもらうべきです。調整後、ねじやレバーがしっかり締められているか確認をしてください。
- ディスプレイは決められた用途にのみ使用してください。
- 決してディスプレイは開けないでください。万が一開けて破損した場合の修理サービスは適用されません。
- ディスプレイを廃棄する際は、電子機器廃棄物として最適な方法で処理してください。

警告：

この製品は排気ガス基準 EN55022 レベル A に属します。国の規則に明記されるように工業地域で使用することが可能です。またこの製品は、他の地域での使用の際、特別許可が必要になるかもしれません。その場合 EMC 規定の必要条件に従い、取り扱う必要があります。

10 トラブルシューティング

クイック対応方法...

...右側の LED L1 ランプが赤点灯:	→H01
...画像に青や赤の線が入っている:	→H02
...ステレオ画像にクロストークが起きる:	→H02
...正確な(例:反転画像)ステレオ画像が出ない:	→H03
...工場設定値にリセットしたい:	→H04
...トラッキング正確に作動しないのに、LED L1 ライトが緑点灯:	→H07

H01: LED L1 ランプが赤く点灯している

ディスプレイのスイッチを切ってください。ディスプレイ後部の輸送ロックが解除されているか確認してください (2.2 を参照)。また、ディスプレイが正確な位置にあることを確かめてください:ラインは正確に水平になっていますか? 支柱は垂直に立っていますか? 確認した後、再びディスプレイのスイッチを入れてください。

問題は解決しましたか?

はい→完了 いいえ→サポートに連絡

H02: 距離の修正

ディスプレイから数センチの間をゆっくり近寄ったり遠くに行ったりすることでディスプレイからの自分の距離を変えてみる。理想的な距離は、平均 65cm ですが、ユーザの身体的特徴に微妙に反応し、変更が必要になることもあります。

問題は解決しましたか?

はい→完了 いいえ→H05 を参照

H03: ピクセルコラムの交換

LED L2 ランプが点灯しているか確認してください。

- o 点灯している:T3 を押して L2 ランプを消します。ステレオ画像が反転されました。
- o NO:ピクセル・カラム(ステレオ画像)を交換します!T3 を押すと L2 ランプは黄点灯します。

問題は解決しましたか?

はい→完了 いいえ→T3 を押す (L2 ランプを消す) →H02 を参照

H04: 工場設定値にリセット

ディスプレイのスイッチを切ってください。T2 ボタンを押したまま、ディスプレイのスイッチを入れてください。ON/OFF ボタンの隣にあるランプが緑点灯するまで T2 ボタンを押したままにしてください (図 6、位置 7 を参照)。

結果

ステレオ画像が正常に見ることができる→完了

ステレオ画像がうまく見ることができない→スタート

H05: トラッキングの確認

T1 を押してトラッキングのスイッチを切ると、L1 LED ランプは消えます。頭を横に動かして、きれいにステレオ画像が見える位置を探してください。位置が見つかったら、T1 を再び押してください。L1 ランプが緑点灯し、トラッキングがスタートします。

結果

ステレオ画像が悪くなった →H06 を参照

ステレオ画像が変わらない →H07 を参照

H06: トラッキングの修正

- トラッキングがオン(LED L1 ランプは緑)かどうか確認してください。オンでなければ、TI を押してトラッキングのスイッチを入れてください。
 - LED L2 がオンならば、スイッチを切るために T3 を押してください。
 - 修正目的のために静止画面を使用してください。最もよい結果が得られます。
 - ディスプレイの調節モードが必要な際は、T2 を押してください:L3 と L4 は緑点灯します。
 - 赤や青の陰影が無くなるまで(約 65cm)、ディスプレイからの距離を変えてください。
 - ステレオポジショニングを調節するためには T1 と T3 を使用してください:
 - 主に青い陰影がある:→T3(左ボタン)
 - 主に赤い陰影がある:→T1(右ボタン)
- L1 が黄点灯しているならば、それ以上調節できません。逆方向へ調節をしてください。
- 設定値を保存:L3 と L4 が消えるまで、T2 ボタンを押し続けてください。
 - 必要であれば T1 ボタンを押してトラッキングのスイッチを入れたり切ったりしてください。
 - 設定値を解除したい:T2 を少しだけ押して、ディスプレイのスイッチを入れたり切ったりしてください。

問題は解決されましたか?

はい→完了

いいえ→H04 を参照

H07: トラッキング 必要条件

赤外線感知器あるいはカメラをカバーしないでください! 必要な場合は、ディスプレイのスイッチを入切してください。ディスプレイの前で端から端へゆっくりと移動すると、画像がその動作をトラッキングします。絶対に跳んだりしてはいけません。

- スポットトラッキング(「C-s」):額の真ん中にしっかりとリフレクタが付いていることを確認してください。
- アイトラッキング(「C-i」):ビューワの目にちゃんと必ず照明が届いていて、かつカメラへ直射日光が当たっていないことを確認してください。(2.1 参照)

問題は解決されましたか?

はい→完了

いいえ→サポート

サポート support@seereal.com にメールで連絡

完了 他に問題がある場合、Start(20 ページ)を参照

11 連絡先

SeeRealTechnology Ltd
Blasewitzer Str. 43
01307 Dresden/Germany

電話: +49(0)351 450 3240
FAX: +49(0)351 450 3250
インターネット: www.seereal.com
eMail: info@seereal.com
サポート: support@seereal.com

この装置は、第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

作成：ドイツ・ドレスデンにて、2003年8月21日